

収支予測について

1. 収支検討の見直しについて

「芦屋港活性化推進委員会 プレジャーボート係留施設専門分科会 検討報告書」(平成30年4月)において、最大隻数 200 隻(陸上 129 隻、水上 71 隻)の場合の収支予測を行い、損益分岐点は約 162 隻であった。

今回、プレジャーボートの係留場所変更に伴い、すべての船舶が水上に係留する可能性が出てきたため、収支の再確認を行うこととした。具体的には、陸上保管の際に上下架施設利用で得る見込みであった収入を減額して収支を検討した。

また、係留料金は脇田漁港フィッシャリーナの料金と同程度としていたが、同じく近隣である福間漁港小型船舶係留施設と同程度の料金とした場合の収支確認も行った。

2. 料金設定について

収支検討の見直しに先立って、近隣ボートパーク等の事例を参考に、料金体系を以下の通り整理した。

表 1 芦屋港 PB 係留施設における料金年間利用料金(案)

船舶長区分	前回検討	今回新設
	脇田フィッシャリーナ と同程度	福間漁港 小型船舶係留施設と同程度
6m 未満	90,000 円	169,000 円
6m 以上 7m 未満	105,000 円	169,000 円
7m 以上 8m 未満	120,000 円	193,000 円
8m 以上 9m 未満	135,000 円	217,000 円
9m 以上	150,000 円	241,000 円
上下架料金等	1,680 円(船舶長に関係なく 一律)	なし

表 2 類似施設のボートパーク年間利用料金等一覧

区分 (船舶長、 他)	脇田漁港 フィシャリーナ	鳥取港 ボートパーク	ボートパーク 広島	福井港九頭竜川 ボートパーク	芦屋マリーナ 株式会社	柏原漁港 (幅 2m～3m)	津屋崎 ヨットハーバー	福間漁港 小型船舶係留施設
7m 未満	94,320 円～ 110,040 円	37,000～50,000 円 (陸上)	220,320 円	55,100 円 (陸上) 154,500 円 (水域)	180,000 円～ 190,000 円	54,750 円～ 63,875 円	～153,720 円 (陸上) ～108,360 円 (浮浅 橋)	～153,720 円 (陸上) ～168,840 円 (水域)
7～8m	125,760 円	65,000～99,000 円 (水域)	255,312 円～ 320,112 円	70,200 円 (陸上) 194,400 円 (水域)	190,000 円	73,000 円	175,680 円 (陸上) 123,840 円 (浮浅橋)	175,680 円 (陸上) 192,960 円 (水域)
8～9m	141,480 円	63,000 円 (陸上) 82,000 円 (水域)		81,000 円	216,800 円～ 270,000 円	82,125 円	197,640 円 (陸上) 139,320 円 (浮浅橋)	197,640 円 (陸上) 217,080 円 (水域)
9～10m	—	—	290,304 円～ 358,992 円	91,800 円	—	91,250 円	219,600 円 (陸上) 154,800 円 (浮浅橋)	219,600 円 (陸上) 241,200 円 (水域)
10～11m	—	—	510,624 円	102,600 円	—	100,375 円	241,560 円 (陸上) 170,280 円 (浮浅橋)	—
11～12m	—	—			—	109,500 円	—	—
12～13m	—	—			—	118,625 円	—	—
13m 以上	—	—			797,040	—	127,750 円 (船舶長 14m)	—
上下架 料金等	無し	民間運営	3,500 円 (～9m 未満一 律)	2,100 円 ～6,400 円	3,240 円 ～4,320 円	—	1,080 円	1,680 円
共益費	—	—	—	32,400 円	—	—	—	—
保証金等	—	—	90,000 円 ～294,000 円	100,000 円	100,800 円 ～162,000 円	—	—	—

3. 収支予測について

前節までの条件を踏まえ、収支予測を再検討した。

すべて水上保管になることから、上下架料金収入が減収になったが、船艇を牽引する車両費が不要になり支出が減少したため、損益分岐点は164隻となった。

また、料金を福間漁港と同程度にすると損益分岐点は87隻となった。

表 3 芦屋港 PB 係留施設の収支予測

	前回検討		今回検討	
	200 隻 (陸上 129 隻、水上 71 隻)	200 隻 (水上 200 隻)	200 隻 (水上 200 隻)	200 隻 (水上 200 隻)
料金設定	脇田ベース	脇田ベース	脇田ベース	福間ベース
予測年間収入	25,367,580 円	23,809,500 円	23,809,500 円	39,440,000 円
予測年間支出	20,963,472 円	20,601,328 円	20,601,328 円	20,601,328 円
予測年間損益	4,404,108 円	3,208,172 円	3,208,172 円	18,838,672 円
損益分岐点	162 隻	164 隻	164 隻	87 隻

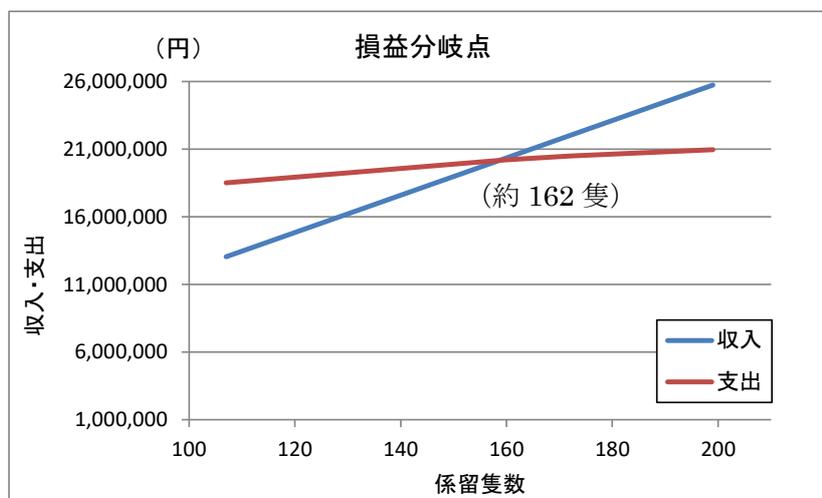


図 1 損益分岐点（前回検討、陸上保管・水上保管あり、脇田ベース）

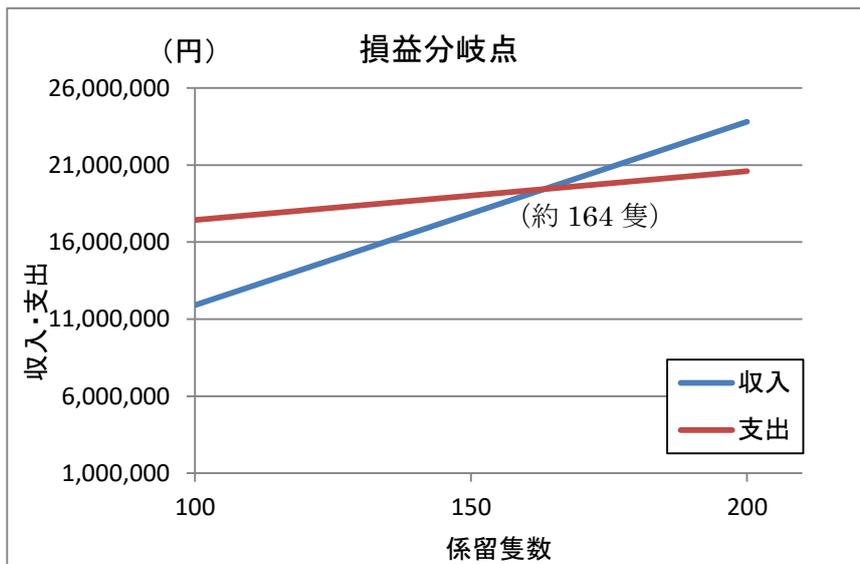


図 2 損益分岐点 (今回検討、水上保管のみ、脇田ベース)

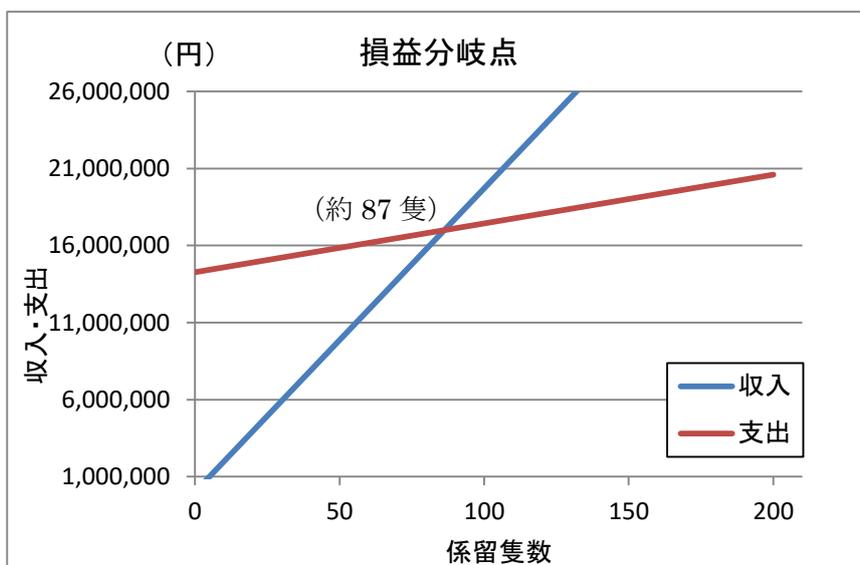


図 3 損益分岐点 (今回検討、水上保管のみ、福間ベース)

4. 損益分岐点の変化について

水上保管のみの場合において、料金設定を変更して損益分岐点の変化を整理すると、下図のようになる。

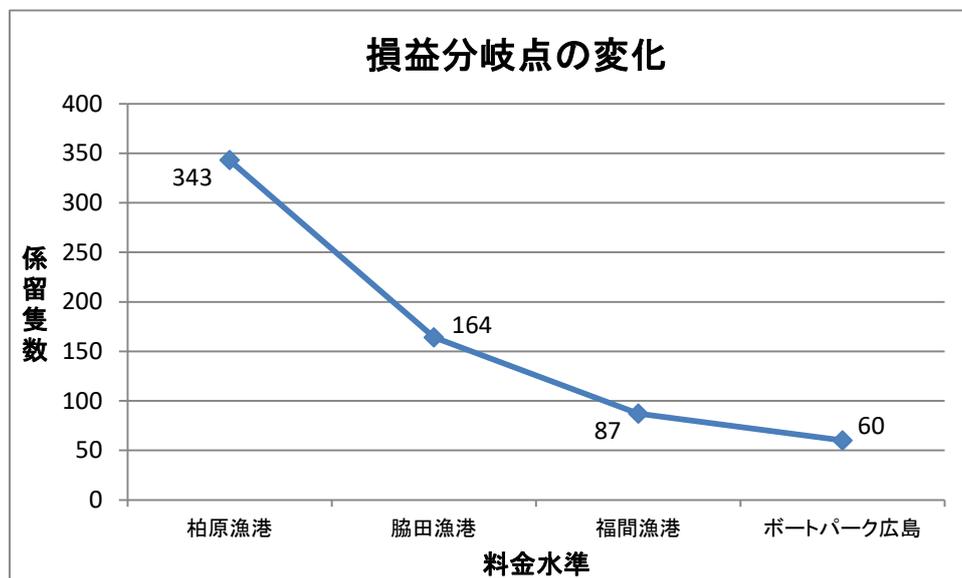


図 4 損益分岐点の変化（水上保管のみ）